令和5年9月19日制定

(趣旨)

第1 千葉県におけるうなぎ稚魚漁業(千葉県漁業調整規則(令和2年千葉県規則第61号。 以下「規則」という。)第4条第1項第20号に掲げるうなぎ稚魚漁業をいう。)の許可に 関する取扱いについては、規則に定めるもののほか、この方針の定めるところによる。

(許可をすべき漁業者の数の考え方)

- 第2 次の(1)の数から(2)の数を差し引いた数に(3)の数を加えた数を漁業種類及び操業区域ごとに定める。
- (1)前回許可の有効期間の満了日の許可の数
- (2)廃業見込みの数
- (3)新規希望の数(漁業調整その他公益に支障を及ぼさないと認められる範囲内の数に限る。)
- 2 許可の有効期間の途中においては、原則として新たな許可をするための追加的な公示は 行わないものとする。
- 3 第1項の規定に関わらず、許可をすべき漁業者の数については、別表1の人数を上限と する。

(新規の許可に係る制限措置)

- 第3 規則第11条第1項に規定する制限措置は次の各号の内容を定めるものとする。
- (1)漁業種類 別表1のとおり

なお、別表 1 におけるすくい網とは、たも網及びさ手網を総称したものをいう。

- (2)許可をすべき漁業者の数 第2の考え方に基づき都度定める。
- (3)操業区域 別表1の区域に包含される区域を都度定める。
- (4)漁業時期 12月1日から翌年4月30日までの期間中で都度定める。
- (5)漁業を営む者の資格 別表1のとおり

(許可の申請期間)

第4 規則第11条第1項の規定による許可を申請すべき期間は、同条第2項の規定を踏ま え、都度定める。

(許可の条件)

第5 当該漁業の許可に当たっては、規則第13条第1項の規定により、別表2の条件を付けるものとする。

(新規の許可に係る許可の基準)

第6 第3に定めて公示した漁業者の数を超える申請があった場合には、規則第11条第7 項の規定により、次の各号の順に優先順位を設け、許可をする者を定めるものとする。 なお、同順位内においては申請者が営む漁業の操業状況や各申請者が当該漁業に依存する程度を勘案して優先順位を決めるものとする。

- (1)前回許可の有効期間の満了日に許可を有していた者(以下「実績者」という。)が、当 該漁業の許可の申請をした場合
- (2)地域漁業の維持・発展に資するため、実績者との調整が図られており、知事が適当と 認めた場合
- (3)(1)(2)以外の場合であって、申請した操業区域において、1年に30日以上漁業 を営む者が申請した場合
- (4)(1)~(3)以外の場合

(許可についての適格性に係る船舶等の基準)

第7 規則第10条第1項第5号に規定する船舶等の基準については次のとおりとする。 定めなし

(許可の有効期間)

第8 当該漁業の許可の有効期間は、規則第15条第2項の規定を踏まえ、都度定める。

(変更の許可)

第9 規則第16条の規定による変更の許可については、漁業調整その他公益に支障を及ぼ さないと認められるときに限り許可するものとする。

(承継の許可)

第 10 当該漁業は規則第 14 条第 1 項第 3 号に規定する承継許可の対象とならない。

(許可の申請)

第 11 当該漁業の許可を受けようとする者は、規則第 8 条第 1 項の規定による申請書のほか、同条第 2 項の規定による「許可又は起業の認可をするかどうかの判断に関し必要と認める書類」を知事に提出しなければならない。

なお、「許可又は起業の認可をするかどうかの判断に関し必要と認める書類」は、おおむね次に掲げる書類とする。

- (1)申請理由書
- (2)年間操業計画書
- (3)印鑑証明書
- (4)用船の場合は、用船契約書又は船舶使用承諾書及び印鑑証明書
- (5)適格性に関する申立書(申請者が適格性を有することを漁業協同組合又は県が別に定める基準に適合した種鰻採捕組合(以下「組合等」という。)が確認し、(7)の副申書においてその旨を記載した場合は省略できる。)
- (6)採捕したうなぎ稚魚の販売先に関する誓約書
- (7)組合等の組合員にあっては、所属組合の長の副申書
- (8)組合等の組合員にあっては、所属組合の養殖用うなぎ種苗の採捕に関する規程

- (9)組合等の組合員にあっては、所属組合の総会議事録
- (10) 千葉県しらすうなぎ需給委員会の長の副申書
- (11)その他、知事が特に必要と認めた書類
- 2 組合等の長は、第1項第7号の副申をするときは、組合等に所属する申請者の名簿を添付するものとする。

(資源管理の状況等の報告)

- 第 12 当該漁業の許可を受けた者は、規則第 21 条の規定により、漁業時期終了後 2 ヶ月以内に資源管理の状況等を別記様式第 1 号により知事に報告しなければならない。
- 2 当該漁業の許可を受けた者は、漁獲量、漁獲金額及び出荷先を、許可期間中毎月 2 回(15日及び月末現在)上半期分をその月の22日まで、下半期分を翌月の7日までに所属組合等を経由する等して、別記様式第1号により知事に報告するものとする。

附 則

- 1 この方針は、令和5年12月1日から施行する。
- 2 千葉県養殖用うなぎ種苗特別採捕許可方針(令和4年9月21日施行)は、令和5年11 月30日限りで廃止する。
- 3 令和6年8月27日一部改正
- 4 令和7年8月20日一部改正

別表 1

1				I
				許可をす
漁業種類		操業区域	 漁業を営む者の資格	べき漁業
				者の数の
				上限
かぐら網		共同漁業権内共第11号及び内共第	銚子市又は香取郡東庄町	
漁 業(利		12号(令和5年9月1日免許)の	内に住所を有し、かつ、	
根川にお		漁場の区域(規則第36条第2項に	採捕したうなぎの稚魚を	
いてふく	1	定める区域を除く。)並びに黒部川	適正な流通の枠組みのも	12 人
ろ網によ	•	の水域のうち銚子市富川町と同市	とで販売するものと認め	12 /
りうなぎ		忍町との境界線から香取郡東庄町	られる者	
の稚魚を		笹川いと同町新宿との境界線に至		
とること		る地先の千葉県水域		
を目的と		共同漁業権内共第 12 号(令和 5 年	銚子市内に住所を有し、	
する漁業		9月1日免許)の漁場の区域のう	かつ、採捕したうなぎの	
をいう。)		ち銚子市富川町と同市忍町との境	稚魚を適正な流通の枠組	
		界線から下流の千葉県水域(北緯	みのもとで販売するもの	
		35 度 44 分 9 秒東経 140 度 49 分 36	と認められる者	
		秒の点及び北緯 35 度 44 分 20 秒東		
		経 140 度 49 分 38 秒の点の見通し		
		線と北緯 35 度 45 分 15 秒東経 140		
		度 47 分 16 秒の点及び北緯 35 度		
		45 分 21 秒東経 140 度 47 分 24 秒		
		の点の見通し線に挟まれた水域に		
	2	あっては、北緯 35 度 44 分 9 秒東		60 1
	2	経 140 度 49 分 36 秒の点、北緯 35		62 人
		度 44 分 20 秒東経 140 度 49 分 38		
		秒の点、北緯 35 度 44 分 25 秒東経		
		140 度 49 分 1 秒の点、北緯 35 度		
		44 分 37 秒東経 140 度 48 分 35 秒		
		の点、北緯 35 度 44 分 52 秒東経		
		140 度 48 分 8 秒の点、北緯 35 度		
		45 分 21 秒東経 140 度 47 分 24 秒		
		の点及び北緯 35 度 45 分 15 秒東経		
		140 度 47 分 16 秒の各点を順次結		
		んだ線と公有水面と陸地との境界		
		線によって囲まれた水域に限る。)		

	ı		T	
ふくろ網		横芝堰から下流の栗山川(支派川	匝瑳市、香取市若しくは	
漁業		(分岐点から 500 メートル以内の	山武市又は香取郡多古町	
		水域に限る。)を含む。)及び大布川	若しくは山武郡芝山町若	
	1	(河口から上流 500 メートル以内	しくは横芝光町内に住所	8 人
	1	の水域に限る。) の水域	を有し、かつ、採捕した	○ 八
			うなぎの稚魚を適正な流	
			通の枠組みのもとで販売	
			するものと認められる者	
		松潟堰から下流の一宮川(支派川	長生郡一宮町又は長生村	
		(分岐点から 500 メートル以内の	内に住所を有し、かつ、	
		 水域に限る。) を含む。) の水域	採捕したうなぎの稚魚を	
	2		適正な流通の枠組みのも	3 人
			とで販売するものと認め	
			られる者	
ひき網漁		利根川河口堰管理橋下流端及び黒	銚子市又は香取郡東庄町	
業		 部川大橋上流端から香取郡東庄町	内に住所を有し、かつ、	
		│ │と銚子市との境界までの利根川	 採捕したうなぎの稚魚を	
	1	 (千葉県水域(規則第 36 条第 2 項	 適正な流通の枠組みのも	5 人
		に定める区域を除く。)に限る。)並	とで販売するものと認め	
		びに黒部川水門下流端から下流の	られる者	
		黒部川の水域		
すくい網		共同漁業権内共第11号及び内共第	 銚子市又は香取郡東庄町	
漁業		12号(令和5年9月1日免許)の	内に住所を有し、かつ、	
(船舶を		漁場の区域(規則第36条第2項に	採捕したうなぎの稚魚を	
使用しな		定める区域を除く。)並びに黒部川	適正な流通の枠組みのも	
いで行う	1	の水域のうち銚子市富川町と同市	とで販売するものと認め	21 人
漁業に限		忍町との境界線から香取郡東庄町	られる者	
る又は船		笹川いと同町新宿との境界線に至		
舶を使用		る地先の千葉県水域		
しないで		共同漁業権内共第12号(令和5年	 銚子市内に住所を有し、	
行う漁業		9月1日免許)の漁場の区域のう	かつ、採捕したうなぎの	
を除く。)		ち銚子市富川町と同市忍町との境	稚魚を適正な流通の枠組	
		界線から下流の千葉県水域(北緯	みのもとで販売するもの	
		35 度 44 分 9 秒東経 140 度 49 分 36	と認められる者	
	2	秒の点及び北緯 35 度 44 分 20 秒東	_ #0 · 7 D 1 V D II	1人
	_	経 140 度 49 分 38 秒の点の見通し		
		線と北緯 35 度 45 分 15 秒東経 140		
		度 47 分 16 秒の点及び北緯 35 度		
		45 分 21 秒東経 140 度 47 分 24 秒		
		の点の見通し線に挟まれた水域に		
		ひぶの元旭し漱に込み16亿小場に		

	1			
		あっては、北緯 35 度 44 分 9 秒東		
		経 140 度 49 分 36 秒の点、北緯 35		
		度 44 分 20 秒東経 140 度 49 分 38		
		秒の点、北緯 35 度 44 分 25 秒東経		
		140 度 49 分 1 秒の点、北緯 35 度		
		44 分 37 秒東経 140 度 48 分 35 秒		
		の点、北緯 35 度 44 分 52 秒東経		
		140 度 48 分 8 秒の点、北緯 35 度		
		45 分 21 秒東経 140 度 47 分 24 秒		
		の点及び北緯 35 度 45 分 15 秒東経		
		140 度 47 分 16 秒の各点を順次結		
		んだ線と公有水面と陸地との境界		
		線によって囲まれた水域に限る。)		
		横芝堰から下流の栗山川(支派川	匝瑳市、香取市若しくは	
		(分岐点から 500 メートルまでの	山武市又は香取郡多古町	
	3	水域に限る。)を含む。)及び大布川	若しくは山武郡芝山町若	
		(河口から上流 500 メートル以内	しくは横芝光町内に住所	400
		の水域に限る。)の水域並びにこれ	を有し、かつ、採捕した	129 人
		らの河川の河口の中心点から半径	うなぎの稚魚を適正な流	
		300 メートル以内の海域	通の枠組みのもとで販売	
			するものと認められる者	
		清水堰から下流の南白亀川(支派	長生郡白子町内に住所を	
		川(分岐点から 500 メートル以内	有し、かつ、採捕したう	
	4	の水域に限る。)を含む。)の水域及	なぎの稚魚を適正な流通	107 人
		び当該河川の河口の中心点から半	の枠組みのもとで販売す	
		 径 300 メートル以内の海域	るものと認められる者	
		潮止堰から下流の夷隅川(旧夷隅	勝浦市若しくはいすみ市	
		│ │川残存水面及び支派川(分岐点か	又は夷隅郡大多喜町若し	
		ら 500 メートル以内の水域に限	くは御宿町内に住所を有	
		 る。) を含む。)、三軒屋川、江場土	し、かつ、採捕したうな	
		 橋下流端から下流の江場土川、文	ぎの稚魚を適正な流通の	
		│ │塚橋下流端から下流の塩田川並び	枠組みのもとで販売する	
	5	 に勝浦市、いすみ市及び夷隅郡御	ものと認められる者	171 人
		宿町の区域内に河口を有する河川		
		(河口から上流 500 メートル以内		
		の水域に限る。)の水域並びにこれ		
		らの河川の河口の中心点から半径		
		300 メートル以内の海域		
		横渚橋下流端から40メートル下流	 鴨川市又は南房総市内に	
	6	の潮止堰から下流の加茂川、東条	住所を有し、かつ、採捕	76 人
		ショニをはり「無め加及川、木木	上三 こうし、 ひ ン、 1本1用	

	1.17-32-10-1		
	大橋下流端から 320 メートル下流	したうなぎの稚魚を適正 	
	のゴム引布製起伏堰から下流の待	な流通の枠組みのもとで	
	崎川並びに鴨川市及び南房総市	販売するものと認められ	
	(旧白浜町、旧千倉町、旧丸山町及	る者	
	び旧和田町の区域に限る。)の区域		
	内に河口を有する河川(河口から		
	上流 500 メートル以内の水域に限		
	る。)の水域並びにこれらの河川の		
	河口の中心点から半径 300 メート		
	ル以内の海域		
	小櫃堰から小櫃橋下流端までの小	木更津市、君津市又は袖	
	櫃川(支派川(分岐点から 500 メ	ケ浦市内に住所を有し、	
7	ートル以内の水域に限る。) を含	かつ、採捕したうなぎの	31 人
′	む。) の水域	稚魚を適正な流通の枠組	31 人
		みのもとで販売するもの	
		と認められる者	
	五井大橋下流端から下流の養老川	市原市又は夷隅郡大多喜	
	(支派川(分岐点から 500 メート	町内に住所を有し、かつ、	
8	ル以内の水域に限る。)を含む。)の	採捕したうなぎの稚魚を	5 人
0	水域及び当該河川の河口の中心点	適正な流通の枠組みのも	3 人
	から半径 300 メートル以内の海域	とで販売するものと認め	
		られる者	
	市川橋下流端から下流の共同漁業	市川市内に住所を有し、	
	権内共第11号(令和5年9月1日	かつ、採捕したうなぎの	
9	東京都知事免許)の漁場の区域(市	稚魚を適正な流通の枠組	5 人
	川市地先の千葉県水域に限る。)及	みのもとで販売するもの	
	び市川市内の水路の水域	と認められる者	
	共同漁業権共第 57 号(令和 5 年 9	銚子市内に住所を有し、	
	月1日免許)の漁場の区域のうち	かつ、採捕したうなぎの	
	銚子市海鹿島町と同市君ヶ浜との	稚魚を適正な流通の枠組	
	境界線から同市名洗町と同市西小	みのもとで販売するもの	
10	川町との境界線に至る漁場の区域	と認められる者	10 人
	及び共第 56 号(令和 5 年 9 月 1 日		
	免許)の漁場の区域内に流入する		
	河川の河口の中心点から半径 300		
	メートル以内の水域		
	共同漁業権共第 54 号、共第 55 号	旭市若しくは匝瑳市又は	
4.4	及び共第 56 号(令和 5 年 9 月 1 日	山武郡横芝光町内に住所	04.1
11	免許)の漁場の区域内に流入する	を有し、かつ、採捕した	94 人
	河川の河口の中心点から半径 300	うなぎの稚魚を適正な流	

│	1
するものと認められる者	
90000000100日	
共同漁業権共第50号(令和5年9 いすみ市内に住所を有	
月1日免許)の漁場の区域内に流 し、かつ、採捕したうな	
12 入する河川の河口の中心点から半 ぎの稚魚を適正な流通の	8人
径 300 メートル以内の水域 枠組みのもとで販売する	
ものと認められる者	
共同漁業権共第 52 号(令和 5 年 9 山武市若しくは大網白里	
月1日免許)の漁場の区域内に流 市又は山武郡九十九里町	
入する河川の河口の中心点から半 若しくは横芝光町若しく	
径 300 メートル以内の水域 は長生郡一宮町、長生村	
13 若しくは白子町内に住所	37 人
を有し、かつ、採捕した	
うなぎの稚魚を適正な流	
通の枠組みのもとで販売	
するものと認められる者	
共同漁業権共第 40 号(令和 5 年 9 鴨川市内に住所を有し、	
月1日免許)の漁場の区域内に流 かつ、採捕したうなぎの	
14 入する河川の河口の中心点から半 稚魚を適正な流通の枠組	35 人
径 300 メートル以内の水域 みのもとで販売するもの	
と認められる者	
駒込堰から下流の新川(支派川(分 旭市又は匝瑳市内に住所	
岐点から 500 メートル以内の水域 を有し、かつ、採捕した	
15 に限る。)を含む。)の水域及び当該 うなぎの稚魚を適正な流	60 人
河川の河口の中心点から半径 300 通の枠組みのもとで販売	
メートル以内の海域 するものと認められる者	
加勢橋下流端から下流の木戸川の 山武市内に住所を有し、	
水域及び当該河川の河口の中心点 かつ、採捕したうなぎの	
16 から半径 300 メートル以内の海域 稚魚を適正な流通の枠組	94 人
みのもとで販売するもの	
と認められる者	
大中堰から下流の作田川(支派川 東金市若しくは山武市又	
(分岐点から 500 メートル以内の は山武郡九十九里町内に	
水域に限る。)を含む。)の水域及び 住所を有し、かつ、採捕	
17 当該河川の河口の中心点から半径 したうなぎの稚魚を適正	125 人
300 メートル以内の海域 な流通の枠組みのもとで	
販売するものと認められ	
る者	

•				1
		小沼田堰から下流の真亀川の水域	東金市若しくは大網白里	
		及び当該河川の河口の中心点から	市又は山武郡九十九里町	
		半径 300 メートル以内の海域	内に住所を有し、かつ、	
	18		採捕したうなぎの稚魚を	52 人
			適正な流通の枠組みのも	
			とで販売するものと認め	
			られる者	
		殿里橋下流端から下流の堀川の水	大網白里市内に住所を有	
		域及び当該河川の河口の中心点か	し、かつ、採捕したうな	
	19	ら半径 300 メートル以内の海域	ぎの稚魚を適正な流通の	30 人
			枠組みのもとで販売する	
			ものと認められる者	
		松潟堰から下流の一宮川(支派川	長生郡一宮町又は長生村	
		(分岐点から 500 メートル以内の	内に住所を有し、かつ、	
	20	水域に限る。)を含む。)の水域及び	採捕したうなぎの稚魚を	10 1
	20	当該河川の河口の中心点から半径	適正な流通の枠組みのも	19 人
		300 メートル以内の海域	とで販売するものと認め	
			られる者	
		松潟堰から下流の一宮川(支派川	長生郡一宮町又は睦沢町	
	21	(分岐点から 500 メートル以内の	内に住所を有し、かつ、	
		水域に限る。)を含む。)の水域及び	採捕したうなぎの稚魚を	46 人
		当該河川の河口の中心点から半径	適正な流通の枠組みのも	40 人
		300 メートル以内の海域	とで販売するものと認め	
			られる者	
		小糸川人見堰から下流の小糸川	君津市又は富津市内に住	
		(支派川(分岐点から 500 メート	所を有し、かつ、採捕し	
	22	ル以内の水域に限る。)を含む。)の	たうなぎの稚魚を適正な	9人
	22	水域及び当該河川の河口の中心点	流通の枠組みのもとで販	
		から半径 300 メートル以内の海域	売するものと認められる	
		並びに新富水路	者	
		亥鼻橋下流端から下流の印旛放水	千葉市内に住所を有し、	
		路の水域及び当該河川の河口の中	かつ、採捕したうなぎの	
	23	心点から半径 300 メートル以内の	稚魚を適正な流通の枠組	5 人
		海域	みのもとで販売するもの	
			と認められる者	
		館山市内に河口を有する河川(河	館山市内に住所を有し、	
		口から上流 500 メートル以内の水	かつ、採捕したうなぎの	
	24	域に限る。)の水域及び当該河川の	稚魚を適正な流通の枠組	10 人
	1	河口の中心点から半径 300 メート	みのもとで販売するもの	
		ル以内の海域	と認められる者	

		旭市及び匝瑳市(旧野栄町の区域	旭市又は匝瑳市内に住所	
		に限る。)の区域内に河口を有する	を有し、かつ、採捕した	
	25	河川(河口から上流 500 メートル	うなぎの稚魚を適正な流	78 人
	23	以内の水域に限る。)の水域並びに	通の枠組みのもとで販売	70 人
		当該河川の河口の中心点から半径	するものと認められる者	
		300 メートル以内の海域		
		富津市富津の区域内に河口を有す	富津市内に住所を有し、	
		る河川(河口から上流 500 メート	かつ、採捕したうなぎの	
	26	ル以内の水域に限る。)の水域及び	稚魚を適正な流通の枠組	10 人
		当該河川の河口の中心点から半径	みのもとで販売するもの	
		300 メートル以内の海域	と認められる者	
		富津市青木又は同市西川の区域内	富津市内に住所を有し、	
		に河口を有する河川(河口から上	かつ、採捕したうなぎの	
	27	流 500 メートル以内の水域に限	稚魚を適正な流通の枠組	2.1
		る。)の水域及び当該河川の河口の	みのもとで販売するもの	3 人
		中心点から半径 300 メートル以内	と認められる者	
		の海域		
		共同漁業権共第57号(令和5年9	銚子市内に住所を有し、	
		月1日免許)の漁場の区域のうち	かつ、採捕したうなぎの	
		基点北22号の点から銚子市海鹿島	稚魚を適正な流通の枠組	
	28	町と同市君ヶ浜との境界線に至る	みのもとで販売するもの	11 人
		漁場の区域内に流入する河川の河	と認められる者	
		口の中心点から半径 300 メートル		
		以内の水域		
		吾妻橋下流端から下流の岩瀬川の	富津市内に住所を有し、	
		水域	かつ、採捕したうなぎの	
	29		稚魚を適正な流通の枠組	4 人
			みのもとで販売するもの	
			と認められる者	

別表 2

	操業	
漁業種類	する	条件
	水面	
かぐら網	内水面	(1)操業に当たっては標章(別記様式第2号)を携帯しなければ
漁業(利		ならない。
根川にお		(2)船舶を用いて操業する者は、操業中使用する船舶の見やすい
いてふく		ところに標識(別記様式第3号)を表示しなければならない。
ろ網によ		(3)前号の標識のほかに、操業中漁具の見やすいところに標識
りうなぎ		(別記様式第4号)を表示しなければならない。
の稚魚を		(4)国の要請又は漁業調整等の必要により、操業の中止等につき
とること		知事の指示を受けた場合は、これに従わなければならない。
を目的と		(5)操業に使用する漁具はかぐら網2統以内とする。
する漁業		(6)うなぎ稚魚の漁獲量の上限は、許可1件につき下記のとおり
をい		とする。
う。)		・30 キログラムを超えて漁獲してはならない。
		(7)漁獲したうなぎ稚魚は、養殖用種苗として販売する以外に
		供してはならない。
		(8)許可を受けた者以外の者に採捕を行わせてはならない。
ふくろ網		(1)操業に当たっては標章(別記様式第2号)を携帯しなければ
漁業		ならない。
		(2)船舶を用いて操業する者は、操業中使用する船舶の見やすい
		ところに標識(別記様式第3号)を表示しなければならない。
		(3)前号の標識のほかに、操業中漁具の見やすいところに標識
		(別記様式第4号)を表示しなければならない。
		(4)国の要請又は漁業調整等の必要により、操業の中止等につき
		知事の指示を受けた場合は、これに従わなければならない。
		(5)操業に使用する漁具はふくろ網1統とする。
		(6)うなぎ稚魚の漁獲量の上限は、別表1の操業区域ごとに許可
		1 件につき下記のとおりとする。
		・操業区域1 3キログラムを超えて漁獲してはならない。
		・操業区域2 1キログラムを超えて漁獲してはならない。
		(7)漁獲したうなぎ稚魚は、養殖用種苗として販売する以外に
		供してはならない。
		(8)許可を受けた者以外の者に採捕を行わせてはならない。

ひき網漁 (1)操業に当たっては標章(別記様式第2号)を携帯しなければ 業 ならない。 (2)船舶を用いて操業する者は、操業中使用する船舶の見やすい ところに標識(別記様式第3号)を表示しなければならない。 (3)使用する船舶は、夜間航行の灯火が整備された船舶とする。 (4)使用することができる漁具は、開口部の大きさが横 4.5 メー トル、縦 1.5 メートル以内とする。 (5)日の出から日没までは操業してはならない。 (6)国の要請又は漁業調整等の必要により、操業の中止等につき 知事の指示を受けた場合は、これに従わなければならない。 (7)操業に使用する漁具は、ひき網1統とする。 (8) うなぎ稚魚の漁獲量の上限は、許可1件につき下記のとおり とする。 ・10 キログラムを超えて漁獲してはならない。 (9) 漁獲したうなぎ稚魚は、養殖用種苗として販売する以外に 供してはならない。 (10)許可を受けた者以外の者に採捕を行わせてはならない。 すくい網 (1)操業に当たっては標章(別記様式第2号)を携帯しなければ 内水面 漁業 又は内水 ならない。 (船舶を 面及び海 (2)船舶を用いて操業する者は、操業中使用する船舶の見やすい 使用しな 面 ところに標識(別記様式第3号)を表示しなければならない。 いで行う (3)海面においては、船舶を使用して操業してはならない。 漁業を除 (4) すくい網に車輪又は滑走具をつけて操業してはならない。 (。) (5)国の要請又は漁業調整等の必要により、操業の中止等につき 知事の指示を受けた場合は、これに従わなければならない。 (6)操業に使用する漁具は、すくい網1統とする。 (7) うなぎ稚魚の漁獲量の上限は、別表1の操業区域ごとに許可 1件につき下記のとおりとする。 ・操業区域 1,2,24 5 キログラムを超えて漁獲してはならな ・操業区域3,5~7,10~19,25,27~29 2キログラムを超え て漁獲してはならない。 ・操業区域4 1.7 キログラムを超えて漁獲してはならない。 ・操業区域8,9,20,21,23 1キログラムを超えて漁獲しては ならない。 ・操業区域 22 1.8 キログラムを超えて漁獲してはならない。 ・操業区域26 4キログラムを超えて漁獲してはならない。 (8) 漁獲したうなぎ稚魚は、養殖用種苗として販売する以外 に供してはならない。 (9) 許可を受けた者以外の者に採捕を行わせてはならない。

すくい網	内水面、	(1)操業に当たっては標章(別記様式第2号)を携帯しなければ
漁業(船	海面、又	ならない。
舶を使用	はその両	(2)すくい網に車輪又は滑走具をつけて操業してはならない。
しないで	方	(3)国の要請又は漁業調整等の必要により、操業の中止等につき
行う漁業		知事の指示を受けた場合は、これに従わなければならない。
に限		(4)操業に使用する漁具は、すくい網1統とする。
る。)		(5)うなぎ稚魚の漁獲量の上限は、別表1の操業区域ごとに許可
		1 件につき下記のとおりとする。
		・操業区域 1,2,24 5 キログラムを超えて漁獲してはならな
		l 1°
		・操業区域 3,5 ~ 7,10~19,25,27~29 2 キログラムを超え
		て漁獲してはならない。
		・操業区域4 1.7 キログラムを超えて漁獲してはならない。
		・操業区域 8,9,20,21,23 1 キログラムを超えて漁獲しては
		ならない。
		・操業区域 22 1.8 キログラムを超えて漁獲してはならない。
		・操業区域 26 4 キログラムを超えて漁獲してはならない。
		(6)漁獲したうなぎ稚魚は、養殖用種苗として販売する以外に供
		してはならない。
		(7)許可を受けた者以外の者に採捕を行わせてはならない。

別記 様式第1号

令和 年 月 日

千葉県知事 様

住所

組合

組合長

うなぎ稚魚漁業の資源管理の状況等の報告書(漁獲成績報告書)

当組合関係のうなぎ稚魚漁業に係る令和 年 月 半期の実績は、別紙のとおりですので報告します。

(別紙内容)

1 報告期間 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

2 資源管理に関する取組の実施状況その他の資源管理の状況

3 漁業生産の実績等

_ 3 _ / / / / / / / / / / / / / / / / /	ミ土座の夫	<u> </u>																				
	許可番号		船名 漁船登録 番号	内訳	月日	日	田	日	日	日	日	日	日	日	日	田	日	田	田	計	操業 日数	操業区域
				漁獲量																		
				漁獲金額																		
				出荷先																		
				漁獲量																		
				漁獲金額																		i
				出荷先																		
				漁獲量																		
				漁獲金額																		
				出荷先																		
				漁獲量																		
				漁獲金額																		İ
				出荷先																		
				漁獲量																		İ
				漁獲金額																		İ
				出荷先																		
		合計																				
		金額																				

(注) ①報告期間中の出荷先については、枠外に記入可能。

(例) 1者の場合:出荷先は、全て●● ●●複数者の場合:出荷先はA●● ●●、B■■ ■■ C▲▲ ▲▲

②期間毎に出荷先が1つの場合は、枠外に記載可能。

(例) ○月○日~○月□日の出荷先は全て●● ●●

○月■日~○月▲日の出荷先は全て■■ ■■

③出荷先が複数の場合は、出荷先毎に複数枚に分けて提出可能。

上記報告の内容については、国及び県が実施する水産資源の資源評価その他の漁業生産力の発展に資する取組に活用するため、国、県等の関係機関へ提供することの 同意を得ていることを申し添えます。

様式第2号

標 章

	令和	年度	

備考

縦10センチメートル以上、横25センチメートル以上の腕章とする。標章の左側を袋状にし、許可証を入れて提示する。 年度は、「許可の有効期間」の最初の年度を記入する。 (年度の記入は、以下様式第3号、第4号も同じ)

様式第3号

船舶の標識

令和年度うなぎ稚魚漁業(漁具)第号組合等の組合員にあっては、組合名 氏名

25 センチメートル以上

35 センチメートル以上

様式第4号

漁具の標識

60 センチメートル以上

20 センチメートル以上